

このミュージカルは人生を変える――

世界中を虜にした映画「BILLY ELLIOT」(邦題「リトル・ダンサー」)。スティーヴン・ダルドリーが初めて監督を務めた長編映画であり、2000年に上映されると全世界で高く評価され、50近い賞を受賞する大ヒット作品に。そして、2005年にはリー・ホール(映画『ロケットマン』『キャッツ』)が脚本・歌詞、映画と同様スティーヴン・ダルドリーが演出を担当、エルトン・ジョン(ミュージカル『ライオンキング』)が音楽で加わりミュージカル化され、2006年には英國ローレンス・オリヴィエ賞4部門、2009年にはトニー賞で10部門を獲得するなど世界中で大成功を収めた。

日本では2017年に日本キャストで初演。約16万人の観客を熱狂させ、菊田一夫演劇賞大賞や読売演劇賞選考委員特別賞など数多くの演劇賞を受賞し、日本演劇界にも一大旋風を巻き起こした。2020年はコロナ禍による一部公演中止を乗り越え、観客を感動の渦に巻き込んだ。

そして、2024年。これまで世界1,000万人以上を勇気づけた傑作が、再び日本をアツくする！



「ここまでいい作品が生まれてしまったか！」という感動を覚え、スタンディングオベーションをしました。

自分が「自分らしく生きたい」と発言していくことの大切さを、ビリーから教わりました。

——宮本亞門(演出家)



すごかった。ここまでとは思いませんでした。子供達の、「頑張ったね」という域を超えた完成度の高いパフォーマンスに感動しましたし、前半からボロ泣き。

こんなに心に刺さったミュージカルは
他にないかもしれません。

——鈴木亮平(俳優)



ステージで発光する若き才能が眩しきて、
こんな衝撃の受け方があるのか、という体験をした。

唯一無二の音楽、振付、不器用な大人達の登場人物と、リアリティあるドラマが、
切なさ、温かさ、もどかしさ、笑い、煌めき、すべてを彩ってくれている。

——ソニン(女優)



バレエ少年だった時代、父親と一緒に見た映画「リトル・ダンサー」。
そして俳優になり、上京して観劇した「ビリー・エリオット」。
当時もう少し若ければビリーを演じたかったなと思ったことを覚えています。
まさに自分にとってバイブルのような作品。

——三浦宏規(俳優)



STORY
それでも、夢を諦めなかった――

バレエに魅せられた少年の夢が、炭鉱町の希望となる

1984年、炭鉱不況に端ぐイギリス。幼い頃に母を亡くしたビリーは、炭鉱夫の父と兄、認知症の祖母との4人暮らし。

逞しく育って欲しいと、ビリーは父からボクシングを習わされていたが、ある日バレエ教室を偶然目にし、戸惑いながらもレッスンに参加するようになる。

ビリーはウィルキンソン先生から才能をいち早く見抜かれ、バレエに熱中していくが、父は大反対。しかし、諦めきれないビリーの夢が、やがて寂れた炭鉱町をも動かすことになる。



舞台写真：2020年公演より

舞台で輝く新たなリトル・ダンサー

バレエ、タップダンス、器械体操、演技、歌唱などの厳しいレッスンを経て、
1375人の中から1年以上かけてオーディションで大抜擢。

長期間の育成型オーディションは日本でも珍しいが、

各国でビリーを育ててきた海外クリエイティブスタッフは、審査に妥協を許さない。

日本初演から携わっている振付補のトム・ホッジソンは、「最初から必要とされる能力を全て持っている子はいない。私たちが探しているのは、何か1つでも優れたものを持っている子。爆発するような煌めきがある子、動くことが大好きな子だ。そういう子を公演までにビリーに育て上げたい」と語る。

そんな期待に応え、2024年のビリーに選ばれたのは、リョウマ、エイト、ウイチロウ、カムイの4人。

彼らは特別な人間ではない。普段は天真爛漫な、ごく普通の小中学生である。そんな彼らが、人生を変えるオーディションに参加し、自らの手で主人公ビリー役を勝ち獲った。その姿はまさにビリーそのもの。

様々な個性をもつ彼らがどんな輝きを見せるか、人生一度きりのビリーへの挑戦をその目で目撃せよ！



リョウマ

エイト

ウイチロウ

カムイ

裏打ちされたバレエスキル!
ストイックダンサー!

浅田良舞

(アサダ リョウマ)

バレエダンサーである両親のもとで2歳からバレエを始める。一度決めたことは最後までやり遂げる芯の強さと勇気が持ち味。2023年に英国ロイヤルバレエスクールサマースクールにスカラシップにて参加。

度胸満点!
愛されキャラの天才肌!

石黒瑛土

(イシグロ エイド)

明るく人懐っこい性格で、正義感も高い頑張り屋。大舞台にも強く、誰にも負けない探求心を垣間見せる。2023年にはモナコ王立プリンセス・グレース・アカデミーへの留学を果たした。

ダンスとピアノの二刀流!
癒し系アーティスト!

井上宇一郎

(イノウエ ウイチロウ)

バレエダンサーである両親からバレエを学び、3歳で初舞台を踏む。エネルギー溢れる踊りを見せ、海外への短期留学も経験した。繊細さと大胆さを兼ね揃えた性格。

抜群の身体能力!
いつも笑顔の全力少年!

春山嘉夢一

(ハルヤマ カムイ)

ビリー役への一人一倍強い思いで努力し、役を掴む。レッスン中も楽しむことを忘れないポジティブな性格。バレエの他にも器械体操や二重跳びなど抜群の運動神経を見せる。

ROAD TO BILLY ELLIOT

ビリー&マイケル
1年にわたる育成型オーディション

応募総数 **1375人**

書類審査通過者 **215人**

第一次オーディション通過者
ビリー役 **11人** マイケル役 **9人**

第二次オーディション通過者
ビリー役 **7人** マイケル役 **7人**

最終オーディション
ビリー役 **4人** マイケル役 **4人**

決定!

特別番組 TVer で配信中!



本作品の大ファン、
綾瀬はるかが、少年たちの
人生一度きりの挑戦に密着!



「綾瀬はるかが目撃!
ビリー・エリオット
情熱と挑戦の舞台」

2017年公演出演者 吉田鋼太郎よりコメントが到着!

初演に出演ましたが、作品自体の完成度の高さ、ビリー役の少年達の純粋さ、アンサンブルの方々の一糸乱れぬチームワーク、優れた舞台を創り上げるために全ての要素が詰まっていたとんでもない作品に出会ってしまったと毎日驚嘆の思いでした。子供から大人まで全ての人が文句なしに楽しめる一生の宝物になる芝居だと今も確信しています。



宣伝美術:野寺尚子(UltRa graphics)/宣伝写真:引地信彦/宣伝衣装:ゴウダアツコ/宣伝ヘアメイク:アートメイク・トキ